第二十講　「に」の識別

「に」の識別

【識別対象】

1　**形容動詞**ナリ活用の連用形の活用語尾
2　**ナ行変格活用動詞**「死ぬ」・「往ぬ」・「去ぬ」の連用形の活用語尾
3　**完了の助動詞「ぬ」**の連用形
4　**断定の助動詞「なり」**の連用形
5　**格助詞**の「に」
6　**接続助詞**の「に」
7　**副詞・副助詞**の一部　→「さら**に**」「まさ**に**」「げ**に**」「だ**に**」など

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★〈見分け方〉＝「　　」→「　　」

１「　　・　　」＋**に**＝**形容動詞**

～「　　」
～「　　」
～「　　」
＋**に**　の形が多い。

（例）
にはかに、親この女を追ひうつ。
あはれ**に**見給ふ。

２　＿＿＿＿＿　**に**の「**に**」＝**ナ変動詞**連用形の活用語尾

（例）
狩りにい**に**けり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3　「　　形」＋に＝**完了の助動詞**「ぬ」の連用形

※　**に**＋　　　　の形が多い。

（例）事なくてやみ**に**けり。

4　「　　」＋**に**
- **断定**の助動詞　※次ページ「断定」参照
- **格助詞**　（「である」と訳せない）

（例）天の川といふ所**に**至りぬ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

※断定

● **に**＋（助詞）＋

（例）いかなる天魔（てんま）の仕業（しわざ）**に**てありけむ、…

〔注〕女、野にありて…

● **に**

（例）同じこと**に**や。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

５「　　形」＋**に**

- **断定**の助動詞　※前ページ「断定」参照
- **格助詞**
- **接続助詞**

※断定

（例）さるべき**に**やありけむ、…

※格助詞

連体形＋**に**　述部

（例）尼君の見上げたる**に**、少しおぼえたるところあれば、（少女は尼君の）子なめりと見給ふ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

※接続助詞

連体形＋**に**、〜　⇒　「　　」「　　」「　　」で訳せる。

（例）（女房が格子を）上げちらしたる**に**、雪降りにけり。

問一　「この猫の声にてありつるが、…」の傍線部の助動詞の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　断定　　イ　尊敬　　ウ　完了　　エ　使役　　オ　強意

問二　「ひきはり逃げにけり。」の傍線部の文法的説明として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　断定の助動詞　　イ　完了の助動詞　　ウ　打消の助動詞

エ　助詞　　オ　形容動詞の活用語尾

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　次の傍線部の文法的説明としても適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

あざやか[a]になさんはなにの難かあらん。
これはただ事[b]にあらず。

ア　助詞　　イ　完了の助動詞　　ウ　断定の助動詞
エ　打消の助動詞　　オ　形容動詞の活用語尾

a＝　　　b＝

問四　「明けなんとするにや」の傍線部の文法的説明として適切なものを、次の中から選べ。

ア　動詞「似る」の連用形　　イ　完了の助動詞「ぬ」の連用形
ウ　断定の助動詞「なり」の連用形　　エ　格助詞「に」　　オ　接続助詞「に」

問五　「誰も制せずになりにけり。」の傍線部と文法的に同じ働きをするものを、次の中から選べ。

ア　用ゐられたる者になんありける。
イ　失せにし児なり。
ウ　便り悪しき事になりて、…
エ　夜あけてこれを見るに、ありし琵琶なり。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　次の傍線部の説明として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

「この所を見る<u>に</u>[a]、憂き世ながらかかる所もありけりと、…」
手毎（てごと）に拭（ふ）きて膳棚（ぜんだな）<u>に</u>[b]重ねける。
実（まめ）やか<u>に</u>[c]約（ちぎ）りつつも、…
さらぬことだ<u>に</u>[d]おぼし寄らぬことなく仕うまつりたまふを、…
「ありぬべき身<u>に</u>[e]こそあめれ」など、…
尼になり<u>に</u>[f]けり。

ア　完了の助動詞「ぬ」の連用形　　イ　接続助詞　　ウ　形容動詞の活用語尾
エ　断定の助動詞「なり」の連用形　　オ　格助詞　　カ　副助詞の一部

a＝　　b＝　　c＝　　d＝　　e＝　　f＝

問七　「いかにすることに<u>か</u>あらむ」の傍線部と文法的に同じものを、次の中から選べ。

ア　年<u>に</u>そへ日にそへては、…
イ　道理もあはれ<u>に</u>おぼえて…
ウ　すで<u>に</u>残り少なく、…
エ　人も申し置かぬ<u>に</u>やと、…
オ　衰へ<u>に</u>たることはり、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【識別総合練習問題】

問八　次の傍線部について、文法的に正しい組み合わせを後の中から選べ。

人がらなりければ[a]にや、…

女はえ詠ま[b]ぬにや、

なかなか[c]に、半ばなる月を見る心地するに、…

この花やがてにほは[d]なむ。

皇子出で給ひ[e]ぬれば、…

見ずなり[f]なむこそあはれなれと、…

ア　ａ「に」とｃ「に」が同じ。

イ　ｂ「ぬ」とｄ「な」が同じ。

ウ　ｂ「ぬ」とｅ「ぬれ」が同じ。

エ　ｄ「な」とｆ「な」が同じ。

オ　ｅ「ぬれ」とｆ「な」が同じ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十講

① 「思ひなし**に**や、～」の傍線部と文法的意味・用法が同じものを、次の中から選べ。

ア　みな人ものわびしくて、京に思ふ人なき**に**しもあらず

イ　ここだくも狂ひ**に**狂ひ思ほゆるかも

ウ　火の中にうちくべて焼かせたまふ**に**、めらめらと焼けぬ

エ　鬢は失せにたれば、ひたぶる**に**なし

② 次の傍線部の文法的説明として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

景時にあづけられ[a]**に**けり。

まこと[b]**に**大きにたかくして、…

存知したりける[c]**に**や、…

ア　格助詞　　イ　接続助詞　　ウ　動詞の活用語尾　　エ　形容動詞の活用語尾

オ　完了の助動詞　　カ　断定の助動詞　　キ　副詞の一部

a＝　　b＝　　c＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③　次の傍線部の中から、一つだけ品詞が異なるものを選べ。

ア「～御心も通ひぬべきを…」
イ「～老人御方に入りたまひにけり。」
ウ「男の艶だちゐたまへる方に帰り往にけり。」
エ「中将、言ひわづらひて帰りにければ、…」

④　次の傍線部ａ・ｂの文法的説明として最適なものを、後の中からそれぞれ選べ。

「元の帯[a]にはあらねども、むなしく失ひて…」
「手をすりて、とりてまかり[b]にけり。」

ア　断定の助動詞の連用形　　イ　接続助詞　　ウ　格助詞　　エ　動詞の連用形活用語尾
オ　完了の助動詞の連用形　　カ　形容動詞の連用形活用語尾　　キ　副詞の一部

ａ＝　　　　ｂ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十講　模範解答

問一　ア
問二　イ
問三　a オ　b ウ
問四　ウ
問五　イ
問六　a イ　b オ　c ウ　d カ　e エ　f ア
問七　エ
問八　オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十講　模範解答・解説

〔解説〕

① 「にや、」の「に」は断定。選択肢アは、連体形に接続し、「に」の下に「あらず」と「あり」がある形から「断定」。よって、正解はア。ちなみに、イはわからなくてもよいが格助詞「に」。格助詞だが、イのように連用形に接続する場合もある（同じ動詞を重ねて、動詞の連用形についている「に」は強調の働きの格助詞。〈例〉「泣きに泣く」）。ウは、接続助詞「に」。エは「ひたぶるに」で一語の形容動詞。

② a　上の「られ」が助動詞「らる」。「られ」＝未然形か連用形だが、未然形に接続する「に」は存在しないので、連用形だと判断する。連用形に接続する「に」は完了。ただし、この場合は下の「けり」に気づいたほうが早く解ける。上の文字を確認し、ナ変動詞ではないので「完了」。よって、正解はオ。

b　「まことに」で一語の副詞。「ほんとうに・実に」の意味。よって、正解はキ。ちなみに、その下の「大きに」は形容動詞「大きなり」の連用形。

c　「にや、」の「に」は断定。よって、正解はカ。

③ 選択肢ウは「往に」で一語のナ変動詞。他は連用形に接続する完了の助動詞。よって、正解はウ。

④ a　体言につき、下に「あらねども」と「あり」があるので、断定の助動詞。よって、正解はア。

b　連用形につき、下に「けり」があることからも、完了の助動詞。よって、正解はオ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔解答〕

①　ア

②　a　オ　　b　キ　　c　カ

③　ウ

④　a　ア　　b　オ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。